



きらら としょかん 

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 242

R4. 3月号

資料展示「小学生の選書体験～図書委員のおすすめ本～」

昨年の夏休みに行われた「小学生の選書体験事業」で、子どもたちが選んだ本を展示します。100冊以上もある本の中から、自分の学校の図書室に入れたい本を一生懸命選びました。大人のかたも、ぜひごらんください。展示した本は貸出しも行っています。

<展示期間>

令和4年3月8日（火）
～3月27日（日）

<展示場所>

本館渡り廊下



中身を見て選べる「みえる」パックはいかがですか？

借りるまで中身がわからない本のお楽しみ袋「かぞくぶっくぱっく」ですが、12月からは、新屋図書館にはなかった中身を見て選べる「みえる」パックが登場しています。カウンター横の書架に並んでいますので、ぜひ一度ごらんいただき、お気に入りの一冊を見つけてみてください。

「みえる」パックは、ベージュ色のパックです！ →



<3月のおはなし会について（おしらせ）>

3月のおはなし会は中止になりました。

コロナウイルス感染症の感染状況等をふまえ再開しますので、来年度もよろしくお願ひします。



新刊案内

ホルモンのはたらき パーフェクトガイド

キャサリン・ウイトロック、ニコラ・テンプル／著 関谷 冬華/訳
日経ナショナルジオグラフィック社 請求記号 491.45 (ホルモン)

カラーのイラストに簡潔な解説で読みやすい…だけじゃない！体液とホルモンの関係、睡眠、脳の機能と感情、病気や老化…ホルモンの入門書でありながら一歩踏み込んだ説明があり、知的好奇心をかきたててくれます。ホルモンが開く未来にも目を向けてみましょう。



映画 光を追いかけて Official Guide Book

堀友 良平、芝 沙也加／編集
ザメディアジョン 請求記号 A778.21 (映画)

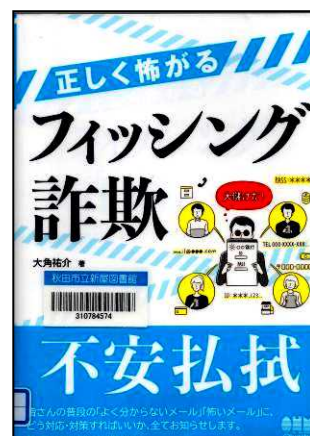
井川町を舞台に撮影された同映画のガイドブックです。秋田市出身の成田監督や各出演者へのインタビュー、撮影の記録、シナリオなどが掲載され、巻末では主人公の先生役で出演した生駒里奈さんが秋田の魅力を紹介しています。映画と共に楽しめる1冊になるでしょう。



正しく怖がるフィッシング詐欺

大角 祐介／著
オーム社 請求記号 007.37 (サイバー犯罪)

フィッシング詐欺の手口は巧妙化し続け、著者は「偽サイトを見分けることは非常に困難になっている」と指摘します。さらには送信されたメールには受信者を焦らせるテクニックが…。本書はそんな詐欺から個人情報を守る方法を伝授。あなたは回避できるか！？



さわってたのしいレリーフブック さかな

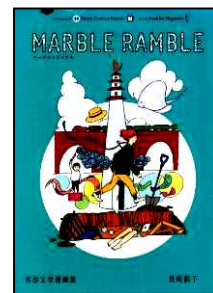
村山 純子／著
小学館 請求記号 TEM (絵本) ※3歳ころから

いろいろな魚のうろこやひれが本のページに浮き出ているよ。ホホジロザメのするどい歯も、毒のあるミノカサゴのとげも、この本なら触れちゃいます！見える人も見えない人も一緒に楽しめる、点字つきの絵本です。



図書館員（大石 美和子）のおすすめ本

書名	MARBLE RAMBLE 名作文学漫画集
著者名	長崎 訓子／著
出版社	パイインターナショナル
所蔵	新屋、土崎 請求記号 726.1 (漫画)



古今東西の名作文学11作を、イラストレーターの長崎訓子が漫画にしたものです。

そのチョイスは、モーパッサンの『墓』や蒲松齡の『桃どろぼう』、海野十三の『空気男』などなど、一癖も二癖もある作品ばかり。皮肉と喪失感が漂う不思議で妖しい世界に引き込まれます。

巻頭をカラーで飾る佐藤春夫の『蝗の大旅

行』の色使いの美しいこと！構図の発想の面白いこと！

名作を紹介するだけではなく、一枚一枚が絵として美しく、どのページを開いてもしっかり長崎訓子の作品集として成り立っているのが凄い。

第19回文化庁メディア芸術祭マンガ部門審査委員会推薦作品に選ばれています。

図書館員（石井 美海）のおすすめ本

書名	今日のハチミツ、あしたの私
著者名	寺地 はるな／著
出版社	角川春樹事務所
所蔵	明德 請求記号 Fテ (日本の小説)



「もし明日人生が終わるとしたらきっとわたしは、喜ぶ」そんな衝撃的な一文から始まります。表紙はほんわかしたイメージですが、予想外な展開に、違って見えるかもしれません。

このおはなしは、暗い過去をもつ一人の女性が前向きに変わっていく物語。居場所がなかった学生の頃、ある人に向けられた言葉と一瓶のハチミツをきっかけに自分を見つめ直します。

やがて女性はさまざまな出会いを経て、ようやく自分の居場所を見つけます。どんな出会いをしたのでしょうか？

人とのつながりの大切さに改めて気づかされる一冊です。自分の居場所は自分で作る、きちんとご飯を食べる、など生きていくもとなること教えます。この本を読んだらハチミツを食べたくなりますよ。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・最新技術導入・・・

清酒「高清水」の製造元である秋田酒類製造が、精米技術の向上に力を入れています。

外部に委託する酒蔵も多い精米作業を自社で行うことにこだわり、2019年には最新の精米機14台を導入しました。特にパック酒で、コメのうま味がより感じられるお酒が造れたとのこと。品質の向上には、水やお米そのものの良さだけではなく、精米技術も関わっているとは…。最新技術をぜひ味わってみたいですね！

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

秋田魁新報

令和4年1月12日

今、あなたへ・・・正しく怖がる・・・



新型コロナウイルス感染症の感染者数がふたたび増えてきています。ウイルスの存在が確認されてから2年以上が経った今でも、予断を許さない状況が続きます。

こんなときに必要なのは、やはり正しい知識。『新型コロナウイルス 脅威を制する正しい知識』（水谷 哲也／著、東京化学同人）では、ウイルス学の専門家によって「ウイルスとはなにか」という初歩的な知識や、ワクチンの作りなどが解説されています。『パンデミックを阻止せよ!』（浦島 充佳／著、化学同人）では、疫学・統計学の専門家によって、実際に起きた様々なケースをもとに、感染症がどのように広がっていくのかが説明されています。

パニックにならず、楽観視もしすぎず、適度に気を引き締めて、感染症から身を守っていきましょう！

図書館員のひとりごと

鉄旅が好きです。昔はよく列車に乗って旅に出かけていた。そんな旅の必需品、三種の神器と言えば、「時刻表」「ウォークマン」「カメラ」だった。

「時刻表」には、列車の乗り継ぎ、宿泊、観光案内など様々な情報が満載していた。

車窓からの風景を眺めながら、いつもお気に入りの音楽を「ウォークマン」で聴いていた。

旅の情景は「カメラ」で撮影。多くの思い出が今でも残っている。

しかし、旅の必需品はいつも重荷になった。

それが今では、スマホひとつで足りる。便利な世の中になったものだ。

(清水)

山に囲まれている我が家には、動物たちが頻繁に通ってきています。雪にくっきりと残る足あとは、家の周囲をうろろうぐるぐる。我が物顔でそこら辺を歩き回っているようです。

新屋図書館の周りでも、いろんな足あとを見かけます。人と犬の足あとが並んでいると「散歩かな?」と想像したり、鳥の足あとを見てどんな鳥か想像したり……。足あとはどうしてこんなにも心をくすぐるのでしょうか。特に魅力的なのが猫の足あとです。なんでしょう、あの可愛さは。小さくてかわいい足あとを見るたびに、ぴゃぴゃと走る猫が脳内に現れます。心臓わしづかみです。

(近藤)